

訓練概要

1 訓練の日時・場所・実施機関

(1) 日時

平成 31 年 1 月 24 日 (木曜日)
午後 2 時 30 分から午後 4 時まで

(2) 場所

都立駒込病院

(3) 実施機関

都立駒込病院、港区みなと保健所、民間救急事業者、駒込警察署

2 訓練の目的

新型インフルエンザ都内発生早期において、都内で患者が発生することを想定し、感染症指定医療機関への患者の移送及び院内での受入れについて、実践的な訓練を行い、移送・受入体制の確認を行う。

3 患者の概要

患者：江戸太郎 35 歳 男性 独身

職業：貿易会社勤務

住所：港区

経過：5 日間 Y 国（新型インフルエンザ発生国）に滞在し、2 日前に帰国。

5 日前に現地の有症状者との接触あり

新型インフルエンザ専門外来に留め置き中

症状：38.5℃の発熱、咳、咽頭痛、全身倦怠感（状態は安定）

4 訓練の流れ

○患者移送・受入れの実働訓練

- ・駒込病院感染症専用入口に、移送車両到着
- ・駒込病院で患者を受入れ（病室への誘導、診察・検査）
- ・病院職員及び保健所職員の防護服脱衣
- ・民間救急事業者の車両の消毒、防護服脱衣

訓練実施風景



移送車両を駒込警察署が先導



車椅子型アイソレーターによる移送



診察・採血



レントゲン撮影



個人防護具の脱衣



参加者による訓練の振り返り

訓練で確認された事項

【都立駒込病院】

- 今回は初めて着用するタイプの個人防護具を使用した。比較的スムーズに着脱ができた。
- N95 マスクで声がこもってしまい、コミュニケーションをとることが難しかった。安全な医療を提供するためにはもう少し声を大きくする等の対応が必要だと感じた。
- 毎年訓練を重ね、全体の流れがかなりスムーズになってきた。今後、イベント発生を想定した場面を訓練に取り入れてもよい段階になってきているのではないかと感じた。

【港区みなと保健所】

- 保健所職員は環境が異なる様々な病院に搬送作業を行うが、病院職員の方にフォローについていただいたので心強いと感じた。

【民間救急事業者】

- 個人防護服を着用しての運転は、安全確認をより慎重に行う必要があると感じた。

【患者（役）】

- 車椅子型アイソレーターはスペースにも余裕があり、息苦しいということはない。移動の際に大きな揺れもなく、医師や保健師の方が声をかけてくださり、安心して運んでもらうこと及び治療を受けることができた。